

旭ヶ丘

学園だより

No.9

編集・発行

高知高等学校

高知高等学校PTA

平成30年7月20日発行

好奇心を大切に

学校長 森 暁

平成三十年度というこの一年も、この紙面が皆様の手が届くころには、すでにその三分の一が終わろうとしています。学びのこと、部活動のこと、趣味に

関すること、友や家族との交わりに関すること等々、一人ひとりその比重は異なると思います。それぞれに充実感を伴った時間が流れていることと思いません。まるで指の間から水がこぼれるように、時が流れていくことがあります。今、何かにしっかりと向き合っている人ほど、時の流れを早く感じるはず。この一年が、皆さんにとってしっかりとした収穫のある年になりますように願っています。

島田雅彦講演会から

去る六月二十二日、高校生は、作家島田雅彦さんのご講演を聴く機会をいただきました。主催してくださった一ツ橋文藝教育

振興会と高知新聞社さまに改めて感謝を申し上げます。また、後援してくださっている集英社さまからは、若者のための一〇〇冊の文庫本を寄贈してくださいました。ありがとうございます。

島田雅彦先生は、法政大学の教授を務められると同時に作家として活躍、文芸・文学に関する賞をたくさん受賞されています。先生が掲げてくださった演題は「自由と好奇心の使い方」、文字通りたいへん好奇心をそそるタイトルです。ここで、先生のお話を少し紹介させていただきます。

「二足歩行という進化により誕生した人類の祖先ネアンデルタール人とその後誕生したホモ・サピエンスは同時代に共存していた。ところが前者は絶滅し、後者が現人類として今の私たちにつながっている。」とご指摘、「両者の運命を分けたその差は何であったのか？」とい

う問いを提起されました。そして、その差のポイントが好奇心の強さ(の差)であったことを紹介してくださいました。

共に猛獣からは身を隠しつつ、食べ物求めてさまよい歩く日常のなかで、「食べられるかどうか」というものさしでしか対象を見ることができなかったネアンデルタール人に対して、ホモ・サピエンスは豊かな好奇心に恵まれていたといわれています。

例えて言えば、足元に咲いている花が目がとまったときに、ネアンデルタール人は「喰えるかどうか」で判断する。これに対して、ホモ・サピエンスは食いのでないと思いつくか、きらいだと思ふ心や匂いがかぐと

いった行動、飾るといふ行動、言い換えれば、好奇心から花と遊ぶ感性を持ち合わせていた。この差が、ホモ・サピエンスの進化を促し、現人類への発達につながっている。そんなお話からスタートされたように思います。

らの鋭さに、石器としての使い方を見出すことにつながったという例。さらには、飼っていた豚が家屋の火事で焼け出されて、それを食したホモ・サピエンスが、肉を焼く(火を通す)という行為の発見につながったという中国に残るエピソード。小麦を焼くうちに、空気中の酵母菌が繁殖する偶然に恵まれて、ふつくとしたパンを焼くことにたどりついたというお話など。

どれも、恵まれた好奇心と自由の下に、ホモ・サピエンスは遊び、発見し、進化を重ねてきた。すなわち好奇心こそが進化のエネルギーであり、我々の祖先としてホモ・サピエンスが現在に生きながらえる根拠となつたというお話でした。

牧野富太郎を重ねて

さて、こんなお話を伺うと、まるでそのお手本のように生きた人物として、私は牧野富太郎を思い起こさずにはいられません。彼こそ、好奇心のままに山野に遊び、植物に寄せる好奇心そのまま研究に没頭し、世界にも冠たる足跡を残した高知県の傑物です。そこで、最後に私の大好きな牧野富太郎と彼に関係する本をご紹介します。

☆☆☆☆

牧野富太郎は現在の高岡郡佐川町に生まれました。六歳の時に時代は明治に移ります。植物

に寄せる並外れた好奇心と行動力により、山野を歩いては植物を採集し、独力で当時のロシアやヨーロッパの植物学に学びながら、それらをもしのご精度で、我が国の植物分類を築き上げるのです。

また、富太郎の植物についての描写力は文章においても植物画においても群を抜いています。富太郎七十八歳の一九四〇年、研究の集大成として世に送り出した『牧野日本植物図鑑』という名著があります。この学生向けポケット版が『学生版牧野日本植物図鑑』(北隆館)です。今から七十年前も前の安価な普及版ですから、写真もなければカラーでもありませんが、日本の草木二千四百種余りが網羅されています。すべて手描きの植物画からなる図鑑ですが、植物を調べたいときには、私は今でもその本を開きます。

近隣種と比較対照できるように、近い種の相違点が極めて明快に描かれており、植物を同定(特定)したいときには俄然すばらしい力を発揮するのです。美しいカラーの図鑑がいくつでも出版されている現代ではあります。さすが、そうした高価な図鑑よりも、しばしばずっと有効で人気

が高、いまだに版を重ねているという超ロングセラーの図鑑なのです。時代が異なるので現代とは比較できませんが、富太郎は小学校を中退しています。植物の勉

強と研究はすべて独力でした。そのため、当時、研究の頂点にあった東京帝国大学の学閥からはしばしば圧力と不遇を強いられたようです。日本を代表する研究実績を上げて後も困窮は続き、借金に追われて貴重な標本を売りに出すなど、家族には大変な苦勞をかけたばなし。しかし、気さくでユーモラスであつたらしく、『牧野富太郎自叙伝』には、その辺りの逸話がたくさん残されています。読みやすいので、ぜひ手にしてみてください。

また、研究者同士の競争や葛藤など、人間関係のドラマに入っていききたいなら、『牧野植物図鑑の謎』（俵浩三著 平凡社新書）がおもしろいと思います。在野にあつて不遇な研究生生活を強いられながらも、植物をこよなく愛し、生涯、植物からはなれなかつた富太郎の情熱が伝わってきます。

☆☆☆

富太郎については、県立牧野植物園に優れた展示があり、その生涯をたどることができます。同植物園では、開園六十周年記念特別展として、現在（八月五日まで）英国キュー王立植物園の収蔵画が展示されています。この機会に好奇心全開で牧野富太郎を訪ねてみるのはいかがでしょう？

島田先生のお話から、好奇心こそが人類を進化させてきたことを学びました。また、好奇心

こそが富太郎を世界の植物学者に導いたのです。
生徒の皆さんの好奇心がパンのようにふくらむことを願って



高知中学高等学校PTA会長 細川 洋伸

スローガン 生き抜く力【守る力！】
はじめに

早いもので会長職をお預かりして5年目になります。最初は手探りの中、行っていた責務でしたが多くの先生方や関係者の皆様、そしてお子様の卒業と共に退任された先輩諸兄の皆様の温かいご指導のおかげで無事ここまでやってこることができ、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。また本年度もどうか宜しくお願い致します。

生き抜く力

私は1990年頃に高校を卒業し、まだできたばかりの夢を抱き、関西の方に進学をしました。

その頃の日本はバブル景気もあり世の中の大人たちはもとより私たちのような子供までもが何とも言えないような高揚感に包まれ、物事がものすごい勢い

います。学びに、部活動に、生活に、大切なエネルギーとなる「自由と好奇心」を全開にして挑戦してください。

で動いていたように思います。

それから数年後の1995年1月に、淡路島北部を震源とする大きな地震が駆けめぐり、世の中が騒然とした記憶がございます。

また、まだ記憶に新しい2011年3月に三陸沖を震源とした激震では大自然の圧倒的な力に対し、人間の無力さを痛感したことでした。

そして、私たちの暮らすこの高知も例外ではなく、今後数十年以内には南海トラフを震源とする超巨大地震が予測されており、対策を十分にとっていくことは急務であると考えます。

守る力

私たち、子を持つ親としては、どんな事があるかが、子供を守りたい、いや守らなくてはならないんだと強く思うとともに、今できる備えを万端に整えていきたいと考えております。

【事業内容】

- ・防災・災害への取り組み
- ・高知中高は高知市の指定避難所にも選定されており、多くの避難者が集まってくることを予想されています。十分な物資の確保と迅速な行動、そして知識が必要と考えます。
- ・この事を学校・生徒・地域・行政・保護者と共に考えていきます。
- ・学校行事に対する積極的な参加
- ・学園祭やバザー、三者協力会など学校で行われる行事へ積極的に参加することで、生徒たちや先生方との交流が生まれることから、学校の教育活動へ寄与します。
- ・各支部や保護者様との訪問、交流
- ・各支部への訪問を先生方と積極的に行い、学校をより知っていただくとともに、交流を通じて普段聞けない声を吸い上げ、今後の活動に生かします。
- ・各クラブへの訪問
- ・各クラブ（部活動）での取り組みなどにおいて先生や保護者の皆様との交流を行い、そのクラブ（部活動）における思いや問題等を理解、解決していきます。
- ・新入生増加に向けた取り組み

昨今の少子化の問題における生徒減少問題を学校側だけに任せるのではなく、我々PTAも自分たちの問題として捉え、能動的に行動していきます。

結びに

学校とは、我々今を生きる人間と過去・未来を繋ぐ一つの「心のふるさと」であると思えます。卒業し社会人になり荒波にもまれ、ふとした時に思い出す学生時代の懐かしい日々……。

学園に入り、あんなお兄さんにお姉さんになりたい、素敵な青春時代を送りたいと、まだ進学を考えている子供たち……。そのような時間と時間を結ぶ場所が学校と言われる母校ではないでしょうか。

そんな「ふるさと」を守り続けていくことも我々PTAとしての使命であると、強く心に誓い、私の所信といたします。

○学園祭日時

平成30年10月7日（日）
9時～14時30分

学園祭テーマ
「笑顔満祭」

○地区会日程

平成30年9月1日（土）高知市
平成30年9月29日（土）香美・香南

講師として
法政大学教授
の島田雅彦先
生をお招きし
て、高校生を
対象に「自由
と好奇心の使
い方」という
演題で講演会
が開かれまし
た。



**高校生のための文化講演会を開催
しました(六月二十二日実施)**

こんにちは。中学校3年E組
副担任の徳永翔太と申します。
担当科目は数学です。「星の王
子様」でキツネは王子に言いま
した。「大切なことは目に見え
ないんだよ」と。数学を通して、
大切なことを見る目を養うこと
ができます。このような「大切
なことを見る目」をもった人間
を育てるために、日々生徒に対して授業を
行っています。数学を数楽と思ってもらえ
るように日々努力していく所存です。この
一年間、よろしくお願いいたします。



**新任の先生の挨拶
(徳永翔太先生)**

高知高等学校 軽音楽部

高知高校軽音楽部スリーピー
スロックバンド「Laze of Lazy」
です。
昨年12月に行われた高知県大
会―第14回高知県高等学校軽音
楽演奏会軽音楽―において優秀
賞を受賞し、県代表バンドとし
て今年度の全国大会―第42回全
国高等学校総合文化祭長野大会
―に出場することになりました。
高知県の高等学校文化連盟軽
音楽専門部は、四国で唯一の軽
音楽専門部で、人口比に対する

軽音楽登録者数は全国2位で
す。専門部が発足してまだ間も
ないのですが、登録人数は1位
の吹奏楽に迫る勢いです。
昨年度、軽音楽同好会から軽
音楽部に昇格し、今年度は部員
数も中学高校合わせて30人を超
えました。高知県代表として恥
ずかしくない演奏ができるよ
う、狭くてエアコンも無い部室
で一所懸命練習を積み重ねてき
ました。南国土佐の熱い音楽を
全国にお届けできます！応援よ
ろしくお願いいたします！！



Laze of Lazy

3-3 川村 斗亜(Gt.&Vo.)
3-6 横田 陸(Ba.)
2-6 前田 誠耶(Dr.)

第42回全国高等学校総合文化祭長野大会(全国大会) 高知県代表

平成30年度 クラス担当一覧表

学年	高等学校						
	組	1	2	3	4	5	6
3年	主	高橋	東野	三木	秦泉寺	山中	本田
	副	小磯	戸田	細谷	福田	廣田幸	小川
2年	主	浅川	野村	山岡	杉村	福島	大窪
	副	竹村	松島	吉良	西峯	比山	渡辺一
1年	主	正木	尾崎	西村雅	岡本香	弘田祐	明神
	副	眞鍋	島田	高橋啓	中村	竹内克	有澤

保健室:市川

学年	中学校					
	組	A	B	C	D	E
3年	主	小松康	増田	竹内雅	石田	森本
	副	岡田尚	勝賀瀬	藤原	浜田	徳永
2年	主	秋村	鈴木	西	須賀	
	副	橋本	西村伸	高瀬	長崎	
1年	主	日高	山本富	岩川	森光恵	
	副	松本安	岡田嘉	平	濱口佳	

保健室:浜松

校長	森
副校長(中)	田中
副校長(高)	石井
教頭(中)	久保
教頭(高)	大崎

進路・特進部

進路・特進部長 小川 直人

今春卒業生の進路状況

今春の本校卒業生の進路状況は、四年制大学進学で五六・九%（全国約四九%）と全国よりやや多く、短大進学で六・四%（全国約五%）、と全国並みで、昨年の一二・八%の約半分でした。これは学短進学者が一九名から一三名に減ったことが影響しています。専門学校進学二四・三%（全国約一六%）、就職四%（全国約一八%）、その他（各種学校・浪人・未定）八・四%（全国約五%）でした。専門学校進学は、全国の約一・五倍です。高知リハに進学した生徒が一人だったことが大きく影響しています。

現高三生の進路志望動向は、五月時点で四年制大学希望が約六七%と昨年より多くなっています。短大希望が約八%、就職希望約六%、未定約五%と昨年並み、専門学校希望が約一五%と昨年より少なくなっています。

高知リハフェローシップ入試

高知リハフェローシップ学院との連携教育であるフェローシップ参加者を対象とした高知高校特別入試（通称「フェローシップ入試」）が導入されて今年で七年目です。過去六年間の進学者数に対してこの入試での

進学者数を見ると、一年目一九人中八人、二年目は三一人中一人、三年目は一人中一人、四年目は二〇人中一人、五年目は一人中五人、六年目は一人中七人、となっており、ほぼ毎年半数以上の進学者がこの制度を利用してきます。受験者全員が合格するとは限りませんが、高確率で合格しています。

平成三一年四月には、高知リハフェローシップ学院が「高知リハフェローシップ専門職大学（仮称）」にかわる予定です。それに伴い今年度の三年生から入試もかわります。今後の動きに注意してください。

オープンキャンパスへの参加

オープンキャンパスとは、大学、短大、専門学校が施設を開放して、学校を詳しく知ってもらうためのイベントです。一年中開催されていますが、多くが夏休みに開催されます。施設を見学できるだけでなく、模擬授業や在校生との交流など、実際の学校生活をイメージしやすい企画があったり、学校によっては過去問などの入試情報が配布されていることもあります。学校のパンフレットやホームページを見て開催期間・開催時間を確認しましょう。ほとんどの学校で高三生だけでなく高一・二生からでも参加可能です。早いうちから学校の雰囲気を感じ、実際の授業などを体験することで、今後の進路選びの参考になるのでお勧めです。また、日程

進学先の推移

卒業年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
国公立	9	5	9	11	6	9	6	6	9
私立大	106	93	104	111	91	99	99	66	107
短大(学短)	23(20)	20(14)	18(15)	28(22)	20(15)	21(16)	7(7)	20(19)	13(13)
専門学校(高知リハ)	57(26)	72(26)	61(18)	55(19)	74(31)	68(18)	67(20)	37(12)	49(14)
各種学校	8	6	4	4	14	4	3	6	9
就職	2	17	7	19	8	9	3	8	8
その他	28	27	22	19	18	15	18	13	7
卒業生	233	240	225	247	231	225	203	156	202

等が合わない場合も、平日に行ってみましょう。普段の学校の雰囲気を知ることができます。

○高知リハフェローシップ専門職大学（仮称）
七月二二日、八月一日

※その他日程もあり

○高知学園短期大学
七月二二日、八月一九日

平成30年度入試 大学合格者のべ数(既卒含む)

高知工科大	5	京都造形芸術大	1	桐蔭横浜大	1
愛媛大	1	京都橘大	3	東海大	2
香川大	2	近畿大	3	東京経済大	2
山口大	1	倉敷芸術科学大	3	東京国際大	1
垂細垂大	1	くらしき作陽大	1	東京電機大	1
追手門学院大	4	敬愛大	1	東洋大	1
大阪学院大	2	神戸医療福祉大	2	徳島文理大	8
大阪芸術大	2	神戸学院大	3	徳山大	1
大阪工業大	1	神戸国際大	2	名古屋商科大	2
大阪産業大	4	駒澤大	1	西日本工業大	2
大阪商業大	4	産業能率大	1	日本大	2
大谷大	2	四国学院大	6	阪南大	2
岡山商科大	2	四国大	5	広島国際大	1
岡山理科大	5	静岡産業大	2	びわこ成蹊スポーツ大	1
神奈川大	3	淑徳大	1	福山平成大	1
川崎医療福祉大	2	城西大	2	佛教大	1
関西医療大	1	専修大	1	松山大	8
関西大	1	大東文化大	2	美作大	1
環太平洋大	3	中央学院大	3	明星大	1
関東学院大	3	中央大	1	桃山学院大	4
吉備国際大	2	中京大	3	立命館大	1
京都産業大	3	中部大	1	龍谷大	2

※その他日程もあり

○高知工科大学
七月二八日、二九日

○高知県立大学
七月二九日

○高知大学
八月四日・五日

夏休みには進路に関する行事もたくさん計画されています。夏休みが高三生にとって重要なのはもちろんですが、高一・二生にとっても重要です。この夏休みには、積極的に補習や学校見学、勉強合宿等に参加し、自分の進路について考える機会を

持ちましょう。

○補習前期A
七月二三日～二七日

○補習前期B
七月三〇日～八月三日

○県外大学オープンキャンパス
見学
八月四日・五日（一泊二日）

○補習中期
八月六日～一〇日

○高三全統マーク模試
八月一四日・一五日

○補習後期
八月一六日～二一日

○夏期勉強合宿（かんぼの宿伊野）
八月二二日～二四日（二泊三日）

大方・宿泊学習(申一)

5月25日(金)～27日(日)にかけて「幡多青少年の家」で2泊3日の宿泊学習を行いました。

- 一、自然の中での活動を通して、自然の仕組みや大切さを知る。
- 二、自主的な集団生活や活動を通して、自主性・積極性を養い、責任・協力の態度を育てる。
- 三、大自然の中で、生徒と生徒、教員と生徒が寝食をともにし、互いに理解を深める。

以上の三点を目標におき、さまざまな取り組みをしました。目前に迫った初めての定期テストに向け、学習方法を学び、学習計画を立てるとともに、参加者全員が大研修室でテスト勉強にも取り組みました。また、高知新聞社の記者の方に来ていただき、90分間の「ZIN教育」(新聞の読み方・関わり方)についての講話を実施しました。講話の後、当日発行の高知新聞を一人に一部配布していただき、実際に「職業関わる記事」を選び、ワークシートにまとめる活動をしました。生徒たちも新聞を身近に感じました。



中一学年主任 森光 恵美

作して志気を高め一致団結する姿が見られました。たくさん組み込まれた活動が見られました。参加者それぞれが、目標の三点を大なり小なり体得していった宿泊学習であったといえます。中学校生活の大きな節目・思い出になったことと思います。

中学全日本少年春季軟式野球大会日本一

野球部顧問 濱口 佳久

我々、高知中学野球部は「中学野球の『春のセンバツ』」とも呼ばれる、「文部科学大臣杯第9回全日本少年春季軟式野球大会」で、5年ぶり2回目となる全国制覇を成し遂げた。しかし、その道のりは決して平坦なものではなく、苦難の連続であった。その中からいくつかのエピソードを紹介したいと思う。中学野球部は市大会を優勝し、四国大会出場をかけた県大会でいきなりの山場を迎える。これまで何度か熱戦を繰り広げてきた明德義塾中学校と1回戦から戦うことになったのだ。この試合は「日本一の投手戦」と言っても過言ではないほどの好ゲームだった。両チーム、エースが先発。高知中のエース森木大智と明德のエースは、入学時から全国的に注目されていた投手で、そんな中学野球界の顔とも言える2人が対決。結果は2-0で勝利。高知中のヒット数はわずか2本という苦しい試合であったが、少ないチャンスを生かして選手はよく凌いでくれた。この流れのまま県大会は無事優勝した。四国大会では森木が7回19奪三振(ノーヒットノーラン)という異次元の投球内容。打線も機能し11-0で勝利。5年ぶりの春の全国大会出場を決めた。全国大会では1回戦、名古屋ドジャースを4-1で破り、5年ぶりに全国で勝利を挙げた。

2回戦の大曲仙北クラブには9-0で勝利。森木は中学野球歴代最速タイとなる146キロを計測。ダブルヘッダーの3回戦、藤井中戦は8-1で勝利。準決勝の古賀ベースボールクラブ戦は延長戦(0アウト満塁スタート)までもつれ込むも2-1で勝利を収め、決勝へと駒を進めた。決勝戦の大田第二中戦では先発の小川が好投し、下位打線の奮闘もあり5回裏終了時で4-0だった。6回表に同点に追いつかれる苦しい展開に。しかしこの最悪の状況は全国前に嫌というほど想定しており、打順の巡りも良かったため、選手・監督ともに焦りな色はなかった。そして運命の7回裏、1アウト満塁。4番吉本の一振りが内野の頭を越え、8月12日から始まった春の道のりに終止符を打った。これまでの取り組みが間違いではなかったことを証明してくれる、完璧な一打でサヨナラ勝ちを収めた。



今回の優勝は監督の私自身、今までの一番手応えのある優勝だった。その要因は、新チームが立ち上がったから、吉岡主将を中心に選手が勝つための必要事項を考え、過去の反省点から得た材料を仮説・検証し、実践的に積み重ね、見事体現して結果を出してくれたことにある。もちろん選手だけで成り立ったわけではなく、支えてくれた保護者、先生方をはじめとする支援者の皆様のサポートのおかげでこの結果を出すことができた。私の仕事は「勝つ」ことではな

い。「勝たせる」ことだ。この3人称的な考えでいることは指導者として不変のものだと思う。今回このような結果を残すことができた、改めて、選手を含めた皆様には心から感謝している。しかし、私たちにはまだ夏の全国が残っている。中学軟式野球界において、春夏連覇へのチケットを持っている学校は日本で高知中ただ1校のみである。春を制したということは夏に優勝することが義務化され、日本中が我々を倒しにかかってくる。このチケットを貰っておいて破り捨てるような真似はしたくない。この最高の40名に広島全中を獲らせたい。いや必ず獲らせる。

夏は「日本一のプライド」を胸に、広島二河球場の日の丸が降りる瞬間を、晴れやかな気持ちで見守って。100年後の野球界のた

平成30年度 四国高校総体結果

【団体】

優勝 **男子バレーボール部(2年連続)**
女子剣道部(5年ぶり)

3位 男子剣道部

【個人】

準優勝 男子剣道部
木下 海成 (3年)

3位 柔道部
男子81kg級 鎌田直人(1年)
男子100kg級 北村昂之祐(3年)



平成30年度 高知高校県体成績

【団体】 **7団体優勝**

優勝
男子剣道
女子剣道
女子テニス
男子テニス
男子バレーボール
女子体操
男子水泳

準優勝
女子柔道
野球
男子体操



陸上部

男子1500m 第7位 吉川 翔太(2年)
男子三段跳 第6位 谷 圭太(3年)
男子砲丸投 第7位 奥宮 健太(2年)
男子ハンマー投 第8位 久保田 基(3年)
男子やり投 第3位 柴田 隼人(2年)
第5位 岡村 豊寿(2年)
男子フィールド 第5位
女子100m 第8位 寺田 天音(1年)
女子200m 第8位 寺田 天音(1年)
女子4x100m 第6位 日浦 理子(2年) 寺田 天音(1年)
西森 瑠香(3年) 坂上 春枝(1年)
女子走り幅跳 第4位 日浦 理子(2年)
女子三段跳 優勝 日浦 理子(2年)
第5位 下元 愛琉(3年)
第8位 坂上 春枝(1年)
女子七種競技 第5位 西森 瑠香(3年)
女子フィールド 第5位

剣道部

男子団体 優勝 女子団体 優勝
男子個人 第3位 弘田 悠人(3年)
ベスト8 木下 海成(3年)
女子個人 優勝 佐竹 蘭(3年)
ベスト8 塩見 紀佳(1年)

男子バスケットボール部

1回戦 高知 55 - 49 土佐
2回戦 高知 75 - 52 高知高専
3回戦 高知 80 - 87 小津(ベスト8)

女子テニス部

女子団体 優勝 田所千明(3年)濱崎 葵(3年)山崎有花(3年)
川田真子(3年)山本もえ(3年)
女子個人 シングルス 優勝 田所千明(3年)
第3位 山崎有花(3年)
ダブルス 優勝 田所千明(3年)川田真子(3年)
第3位 山崎有花(3年)濱崎 葵(3年)

女子バレーボール部

高知 2 - 0 伊野商業
高知 2 - 0 四万十
高知 2 - 0 宿毛
準々決勝 高知 0 - 2 高知商業

男子バレーボール部

予選 高知 2 - 0 宿毛
高知 2 - 0 小津
決勝トーナメント 高知 2 - 0 中村
準決勝 高知 2 - 0 宿毛工業
決勝 高知 3 - 0 高知商業

柔道部

男子団体 3位
女子団体 2位
男子個人
66kg級準優勝 浅川 紘誠(高1) 第3位 鎌倉 廉(高1)
73kg級第3位 西山 修怜(高3) 第3位 山本 陸人(高2)
81kg級優勝 鎌田 直人(高1) 第3位 山中 将志(高2)
90kg級優勝 藤村 大輝(高2)
100kg級優勝 北村昂之祐(高3) 準優勝 堀内 雄司(高1)
100kg超級第3位 細川滉士郎(高2)
女子個人
48kg級準優勝 片田 晶(高2)
57kg級準優勝 山中穂乃香(高2)
63kg級優勝 植村 巴(高3)

弓道部

団体戦 予選40射19中 6位通過
決勝リーグ戦 0勝5敗 6位

野球部

1回戦 高知 4 - 3 宿毛工業
準々決勝 高知15- 1 安芸
準決勝 高知 8 - 1 高知小津
決勝 高知 2 - 4 明徳義塾

ライフル射撃部

男子チームライフル個人立射60発競技
藤岡裕士(3年) 第5位
男子10mエアライフル個人立射60発競技
藤岡裕士(3年) 準優勝

空手部

男子個人組手 岩井隆明(3年) 準優勝
女子個人組手 川村羽生(3年) 優勝

男子テニス部

団体 優勝 中谷 太亮(3年) 岩瀬 京路(3年)
松浦 直樹(3年) 島本 直樹(3年)
西原 大河(2年)
個人 シングルス 優勝 岩瀬 京路(3年)
準優勝 中谷 太亮(3年)
第3位 松浦 直樹(3年)
個人 ダブルス 優勝 岩瀬 京路(3年) 松浦 直樹(3年)
準優勝 中谷 太亮(3年) 西原 大河(2年)
第3位 土居 和希(3年) 島本 直樹(3年)
第3位 市川 敦士(2年) 乙部 輝(2年)

体操部

《男子団体総合》
準優勝(猪野、岡村、山本)
《男子個人総合》
第3位 山本 蒼汰(2年)
第4位 岡村 太洋(2年)
第5位 猪野笙之介(3年)
《男子種目別》
ゆか 準優勝 山本 蒼汰(2年) 第3位 岡村 太洋(2年)
あん馬 第3位 猪野笙之介(3年)
つり輪 準優勝 山本 蒼汰(2年)
跳馬 第3位 山本 蒼汰(2年)
平行棒 第3位 山本 蒼汰(2年)
鉄棒 第3位 山本 蒼汰(2年)
《女子団体総合》
優勝(村上、秋山、安藝)
《女子個人総合》
優勝 秋山 真凜(3年)
準優勝 安藝 明利(2年)
《女子種目別》
跳馬準優勝 秋山 真凜(3年) 第3位 安藝 明利(2年)
段違い平行棒 優勝 秋山 真凜(3年) 第3位 安藝 明利(2年)
平均台 優勝 秋山 真凜(3年) 準優勝 安藝 明利(2年)
ゆか 優勝 安藝 明利(2年) 準優勝 秋山 真凜(3年)
第3位 村上 遥菜(3年)

女子バスケットボール部

2回戦 高知 89-49 土佐塾
3回戦 高知 42-80 岡豊(ベスト8)

水泳部

男子総合 優勝
800m7リ-ル- 優勝(大会新)西山 湧也(3年) 濱田雄一朗(1年)
安原 聖力(1年) 本田 翔規(3年)
400mメ-ル-ル- 優勝(大会新)本田 翔規(3年) 安原 聖力(1年)
西山 湧也(3年) 濱田雄一朗(1年)
400m7リ-ル- 優勝(大会新)濱田雄一朗(1年) 西山 湧也(3年)
安原 聖力(1年) 本田 翔規(3年)
安原 聖力(1年) 優勝(大会新)100m平泳 優勝200m平泳
頼田 哲(1年) 3位200m個人メ-ル-
島内 嘉生(1年) 3位200m平泳
濱田雄一朗(1年) 3位100m自由形 準優勝200m自由形
土居 侑矢(2年) 3位100m背泳
本田 翔規(3年) 優勝200m個人メ-ル- 優勝400m個人メ-ル-
西山 湧也(3年) 優勝200m自由形 優勝400m自由形
女子総合 6位
首藤 大果(2年) 準優勝100m平泳ぎ

-----以上、県体の成績-----

